デイサービスケアスタ中町の広報誌

広報 晴耕雨読

[Seiko-udoku]
2024年10月 vol.68

CARE★STA

新聞エコバッグが表彰されました!!

防犯活動に尽力
22人6団体表彰
若柳、築館署

若柳、築館両署と管内の地区防犯協会連合会は、全国地域安全運動に合わせ、防犯活動に尽力した栗原市の6企業・団体と22人に防犯功労表彰を贈った。

市内のホテルで18日にあった表彰式で、若柳地区防犯協会連合会の高橋浩治会長は「自分たちの地域は自分たちで守るという自主防犯意識を高めていきたい」とあいさつ。須藤信豪若柳署長は「地域住民一人一人に防犯意識が浸透するよう

須藤署長から表彰状を受け取る受賞者

栗原市防犯功労表彰式で、ケアスタ中町が表彰されました。利用者様に作ってもらったエコバッグに防犯チラシを貼って配った取り組みが評価されました。

▼里芋収穫

里芋を収穫しました。丁度良い大きさで、これからの芋煮会にぴったりです。一緒にズイキもつくりました。

▼はっとづくり

「ほっと食べたいな」とご希望があり、早速つくりました。男性も活躍しています。

▼ラベンダー収穫

今年、苗から植え始めたラベンダーが大きくなりました。収穫してサシェをつくりました。

X (twitter)
carestanakamach

Facebook
caresta.day

instagram
care.sta

デイサービスケアスタ中町の広報誌

広報 晴耕雨読

[Seiko-udoku]
2024年10月 vol.68

CARE★STA

一軒家 “まるごと” 生活リハビリ型デイサービス 活動報告

生活リハビリとは？

ご自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できることを見つけ出し、生活動作として毎日繰り返すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。

テーブルを拭く、ご飯をよそう、配膳を手伝う、衣服の着脱を自身で行うなど、生活のなかのあらゆる場面で、ご利用者様が現在できることは可能な限りご自身で行っていただきます。また、少しだけ頑張っていただく選択プログラムもご用意しております。そのことが、生活の質の維持・向上につながると考えるからです。

さらに、ケアスタ中町では、お一人おひとりのご利用者の心に潜んでいる「してみたいこと」をご一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。

☑様々なプログラムがありますので、集団になじめない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムもご用意しております。

認知機能や身体機能の維持・向上を図ることができます。

その方の生活の質の維持・向上が期待ができます。

「したいこと」を見つけ出すことで、意欲を引き出せます。

「なじみの作業記憶」を活用

認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやらされていることへの怒りを感じることもあるでしょう。

一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていることってあります。認知症の人は、そうした体で覚えたこと「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずにすみます。

新聞エコバッグ配布

SDGsの取組として、利用者の皆様に新聞エコバッグを作って頂いています。出来上がったエコバッグは児童クラブや近所のお店に置かせていただいています。

要支援・要介護１～５の方がご利用できます。

見学・体験利用受付中

ご利用に関するご相談はLINE
またはお電話でお問合せ下さい！

☎0228-24-8456